



平成 30 年 12 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社トライアンフコーポレーション
 代表者名 代表取締役 小澤 勝
 (コード番号 3651 TOKYO PRO Market)
 問合せ先 経営管理部 部長 末次 達也
 (TEL 03-5332-6751)

平成30年9月期通期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

平成30年9月28日に公表いたしました、平成30年9月期連結会計期間（平成29年10月1日～平成30年9月30日）の連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結会計期間業績予想と実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,473	26	66	27	25円86銭
今回実績 (B)	2,440	△13	37	6	5円88銭
増減額 (B-A)	△33	△39	△29	△21	
増減率 (%)	△1.3	—	△43.9	△77.7	
(ご参考) 前期実績 (平成29年9月期)	2,398	163	149	109	105円32銭

2. 差異が生じた理由

情報技術事業において、①インフォメーションサービスフォース株式会社の業績がやや上振れしました。また、②株式会社C2は、PMIの結果、個社の売上計上基準を変更することとなり、この影響により当初予想よりも売上高が減少しました。

流通販売事業において、株式会社アドバンス（子会社）が営むMogila事業が急激に不採算化しました。この影響により、Mogila事業に関する固定資産を減損して損失処理（特別損失）したため、当初計画と実績に大きな差が生じました。

販売促進事業において、株式会社パルス（子会社）が有価証券及び保険等を解約したため、営業外収益が生じました。

旅行宿泊事業において、NHホテルマネジメント株式会社（子会社）のPMIにあたって個社の決算を前期決算に遡及して修正しましたが、これに関連して関連当事者から債務免除を受けたため特別利益が生じました。

平成30年9月1日に株式会社アドバンスが行った合併によって生じた連結のれんを減損して損失処理（特別損失）を行いました。

以上の差異が生じた理由につき具体的な金額をまとめると次表のとおりとなります。

(単位：百万円)

原因	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
情報技術事業の予実差①	△2	4	4	10
情報技術事業の予実差②	△7	△8	△9	△4
流通販売事業の予実差	△9	△5	△5	△19
販売促進事業の予実差	△10	△8	△7	△6
旅行宿泊事業における営業外収益	△3	△8	△9	16
減損損失	0	0	0	△19
その他	0	△13	△2	0
合計	△33	△39	△29	△21

以上